

学位被授与者氏名	王 筱萌 (おう しょうほう)
論文題目	明治時代における日本人の中国観—徳富蘇峰を中心に
論文審査結果の要旨	<p>本論文は、これまで中国観に絞ったまとまった研究がなかった徳富蘇峰の中国観に関する記述を丹念に取り上げるとともに先行研究を出来るかぎり集めたものであり、さらには激動する世界情勢の中での蘇峰の中国観の変化を明らかにしようするものである。</p> <p>その結果、蘇峰の中国観が単なる侵略主義にとどまるものではなく中国人の「同化力」の分析に見られるように、中国への深いまなざしにもとづくものであることを明らかにした点は評価に値する。</p> <p>しかしながら、審査委員会においては同時に次のいくつかの点が疑問として指摘された。第一に筆者自身の視点をもう少し強調すべきであったという指摘である。</p> <p>第二に蘇峰の中国における著名人との接触や二つの旅行記の付録の比較についての付表について、著名人との接触による中国観の形成などの本文には反映されていないという指摘である。</p> <p>第三に第一章における「儒教主義」批判は日本の国内問題であり中国観とは異なるのではないかという指摘である。</p> <p>第四に蘇峰は日清戦争の原因として朝鮮問題を挙げており「蘇峰は日清戦争の原因は日本の膨張の必然的結果であり日中の対立は原因でないとしている」という説明は誤っているという指摘である。</p> <p>2023年2月22日、本学3号館3-320教室において最終面接審査を実施し、審査委員全員一致で合格であると認められた。</p>